



難波っ子

令和5年度 5月号
尼崎市立難波小学校
校長 難波佳代子

学校・PTA・地域がつながり、豊かな心を育む学校作り

先日の参観懇談・修学旅行説明会に、お忙しい中来校いただきありがとうございました。5月8日より新型コロナウイルス感染症が5類に移行することに合わせて、出席停止期間も5日に短縮され、季節性インフルエンザと同等の対応となります。学校生活もコロナ後の新しい形で構築していきますが、保護者の皆様と学校の連携が何より大事なことは変わりありませんので、ご理解ご協力よろしくお願ひします。新年度がスタートして、1か月。新しいクラスの様子もわかり慣れるとともに心配事も出てくるころだと思います。何か心配事がありましたら、どうぞ早めに担任や学校へご連絡ください。よりよい解決に向け、一緒に考えていきたいと思っております。

さて、始業式には、「あいさつ・そうじ・あとしまつ」「根気強く取り組む」「早寝早起き朝ごはん」を1年間頑張ってもらいたいと全校生に伝えました。今年度も、本校の教育目標「心豊かでたくましく、自ら学ぶ子どもの育成」の実現に向けて3つの柱を掲げています。

- 自分も周りの人も大切に**豊かな心づくり**。そのために具体的な取り組みとして、「あいさつ・そうじ・あとしまつ」（進んで気持ちの良い挨拶をする。もくもく掃除をして、心も磨く。みんなが使うものを大切に、次に使う人のことを考えて後始末をする。）
- 規則正しい生活習慣による**たくましい体づくり**。そのために、早寝早起き朝ごはん。睡眠の充実。1時間集中できる体力・気力の育成。正しい姿勢の保持。給食残食ゼロ。
- 進んで何事にも挑戦する・根気強く学習に取り組む**自ら学ぶ学びづくり**。そのために、苦手なことから逃げず、やってみる。できないこと・わからないことを見つけ出し、どうやったらできるか考える。わからないことはそのままにせず、人に聞いたり、調べたりする。あきらめずできるようになるまで繰り返し練習する。自分の考えを必ず持ち伝える。

このように学校は子どもの成長のために全力で取り組みますが、学校だけでは子どもたちを心豊かに育むことはできません。**学校・PTA・地域の連携を深めていく必要性を強く感じています**。昨年度までは、コロナ禍で学校に来校いただく機会も少なく、人と会うことが激減し、保護者同士や地域のつながりが希薄になっていました。今年度はPTA活動も新たな形で行う予定となっていますので、大人も子どもも人とつながることの幸せを感じ、難波小学校に関わる全ての人たちが心豊かな1年になるよう連携を深めていけたらと思います。そのために学校も情報を発信していこうとホームページの更新やオープンスクール等学校に来校していただく機会の設定などに努めていきます。できるだけ多くの方に学校に足を運んでいただきますようお願ひします。最後になりましたが、**見守り隊の皆様・あましんの方、登下校の見守り活動**ありがとうございました。来年度は本校もコミュニティースクールを設置しますので、見守りの活動を含め、PTAや地域の方々の難波小学校の教育活動へのご協力をよろしくお願ひします。